

事業概要

1. 事業目的

本事業は、老朽化による機能低下が著しく、構造耐力も低い分散した低層実験棟群を改築整備により集約することで「プラズマ・ナノテク・超電導・スピントロニクス」の国際的研究拠点を形成し、異分野融合・将来的基幹産業育成のための革新的なグリーン・ライフ融合イノベーションを推進させる整備を行うものである。

2. 事業規模等（建築設計と電気・機械設備設計は分離発注）

■新営建物

建物名称：実験研究棟（電子・応物系）

構造規模：鉄筋コンクリート造 地上3階建て 延べ面積：5,800㎡

■とりこわし建物（詳細なとりこわし計画については別図参照）



大講義棟	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	370㎡
電子・応物系北実験棟	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	493㎡
電子・応物系南実験棟1	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	1,028㎡
電子・応物系渡り廊下4	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	44㎡
※電子・応物系南実験棟2	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	1,028㎡
電子・応物系渡り廊下5	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	44㎡
※低温サブセンター	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	128㎡
電子・応物系北研究棟	鉄筋コンクリート造	地上2階建て	1,080㎡
電子・応物系北実験棟	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	419㎡
※電子・応物系工作室	鉄骨造	地上1階建て	110㎡
※磁気共鳴電波実験室	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	124㎡
応用物理工場棟	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	126㎡
応用物理機器室	鉄筋コンクリート造	地上1階建て	80㎡
特殊電磁界実験室	鉄筋コンクリート造	地上2階建て	195㎡
特殊電磁界設備室	鉄骨造	地上1階建て	60㎡

※は近接建物とりこわしに伴う継続利用の仮設ライフライン図等の作成を含む。

3. 基本整備方針

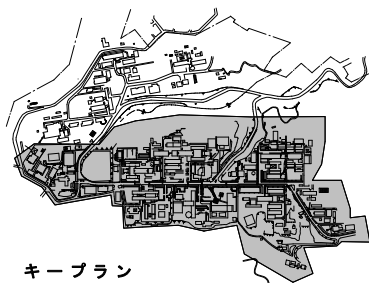
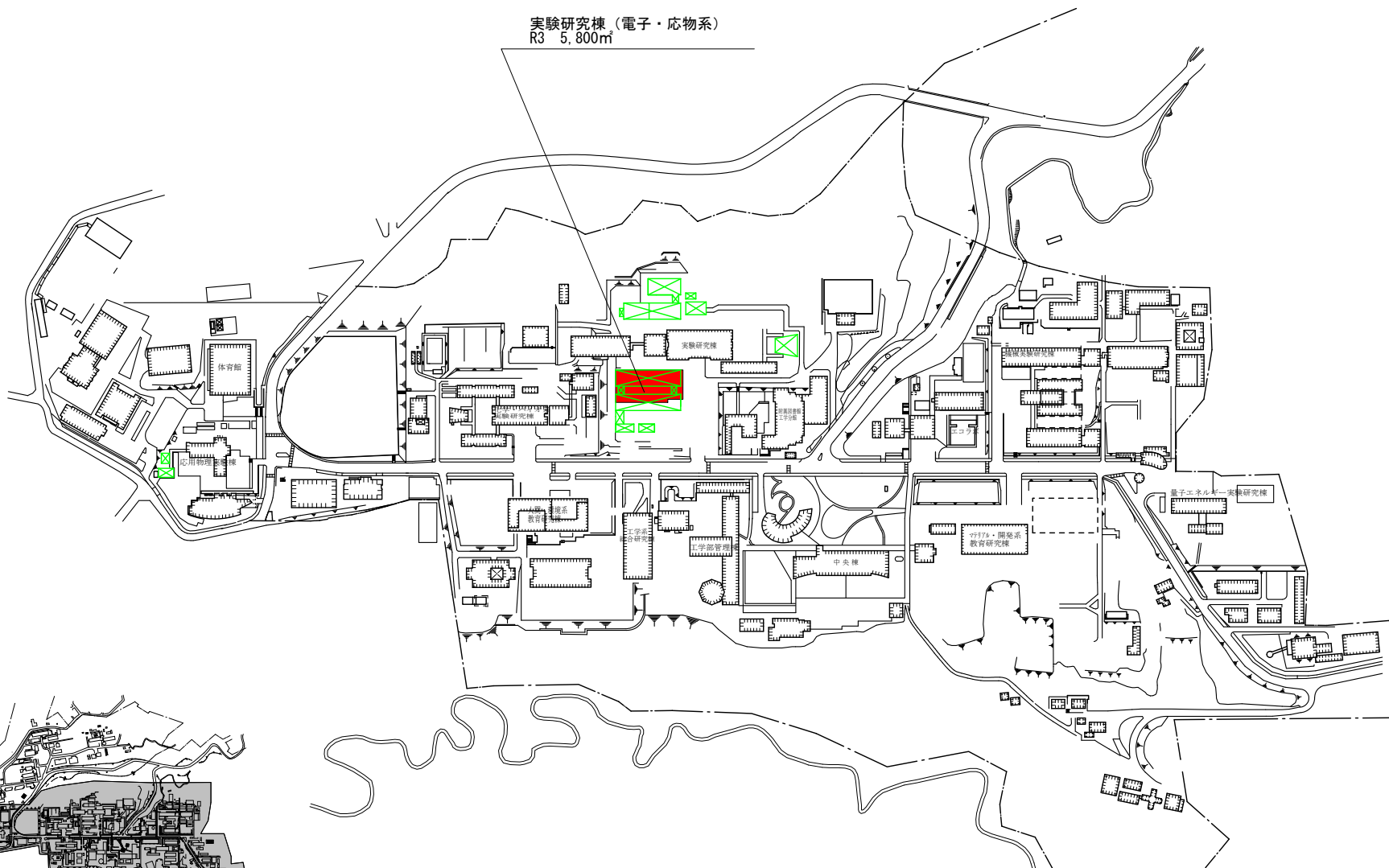
- ・限られた建設用地の中で、効果的かつ経済的な土地利用計画とする。
- ・環境に配慮した技術を利用し、施設の維持管理コストの低減を図る。
- ・本学の「東北大学キャンパスマスタープラン」に基づき、地域に開かれた大学機能の向上やキャンパスの質的向上による知的創造活動の活性化を目的とした整備を行う。
- ・機能別の諸室集約・再配置により、新たな公開機能・情報発信スペースを確保する。

凡例

凡 例	内 容
	本業務建物
	本業務とりこわし建物






実験研究棟（電子・応物系）
R3 5,800m²

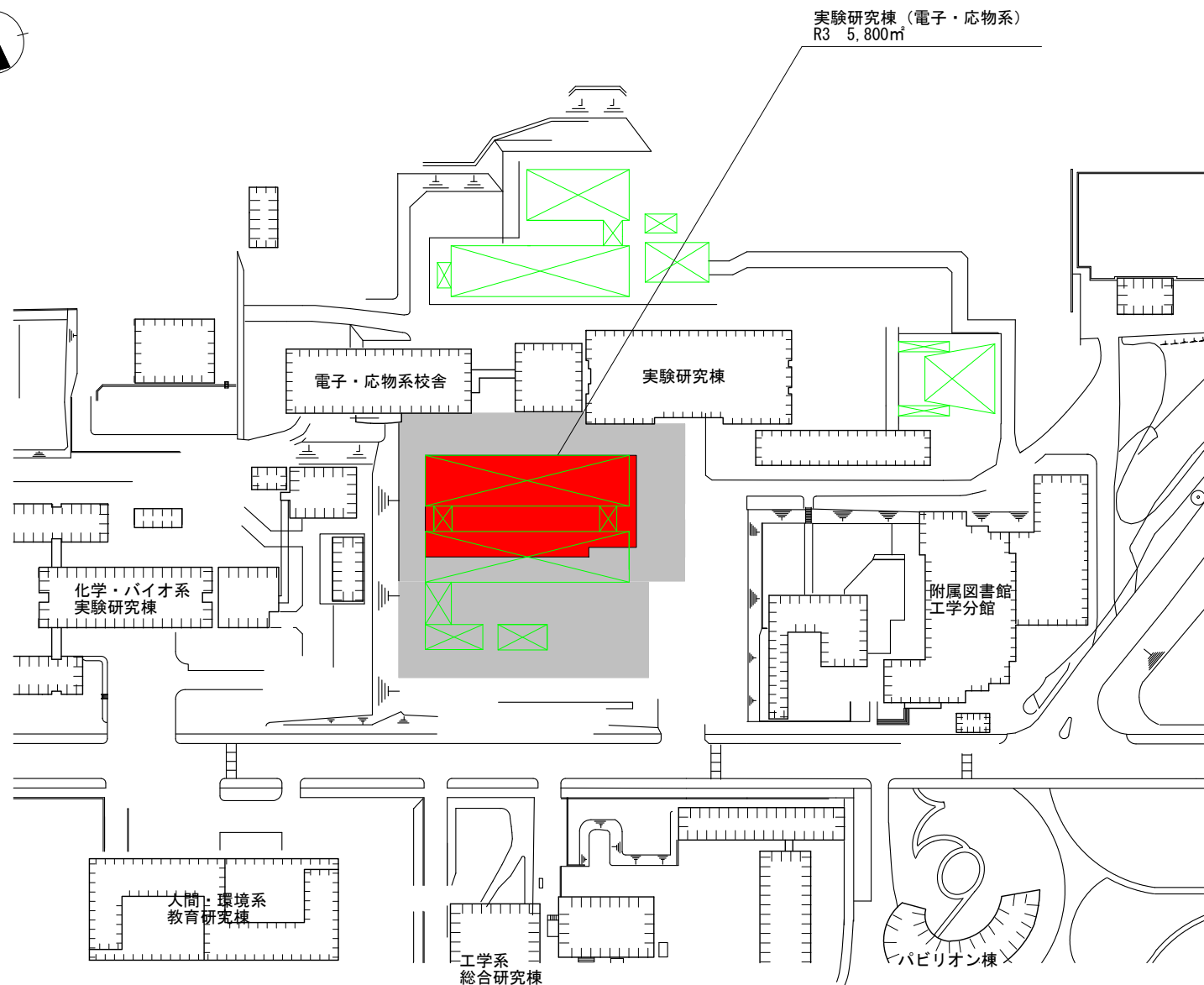


キープラン

業務名	東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務	配置図	1/6,000
-----	----------------------------------	-----	---------

凡例

凡 例	内 容
	本業務建物
	本業務とりこわし建物
	本業務外構整備範囲

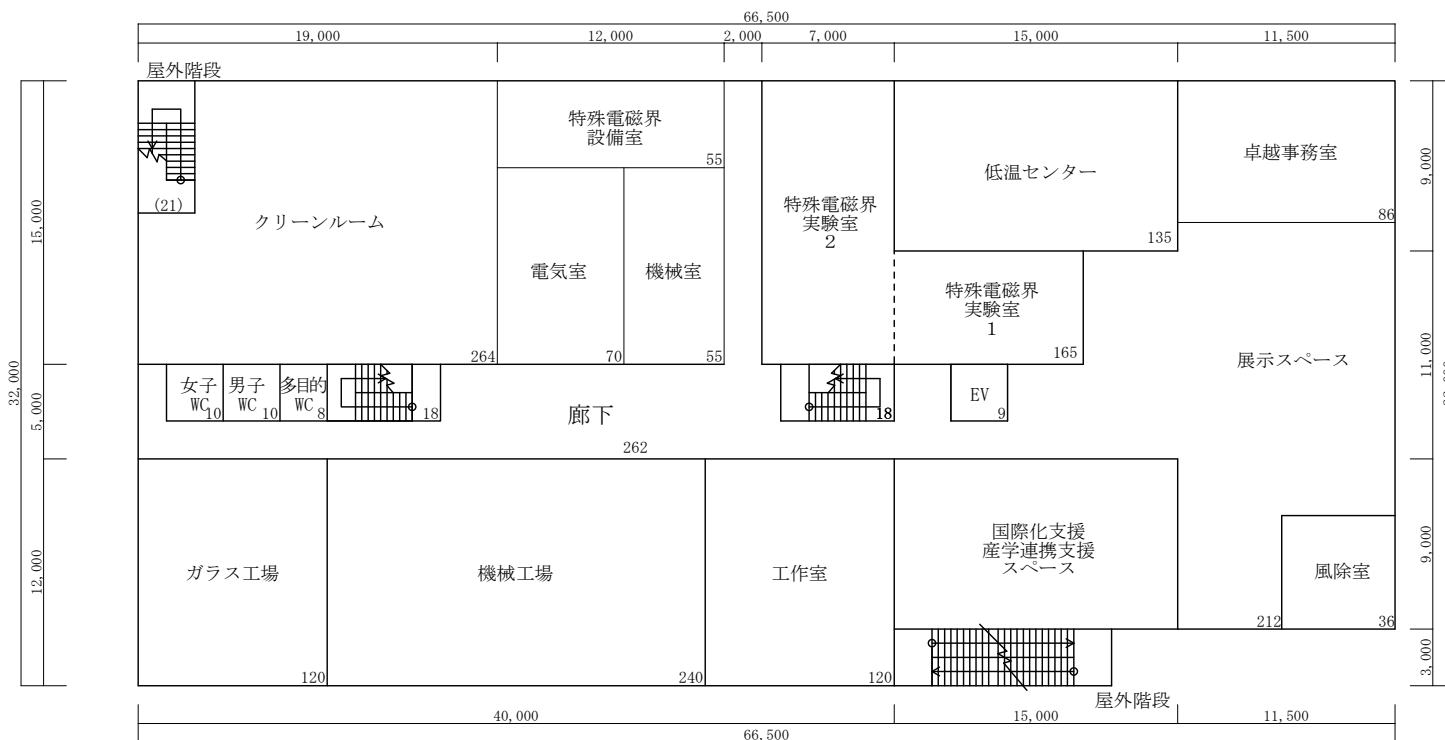
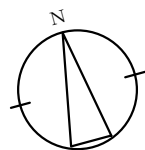


業務名

東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務

部分配置図

1/2,000



面積表 (m²)

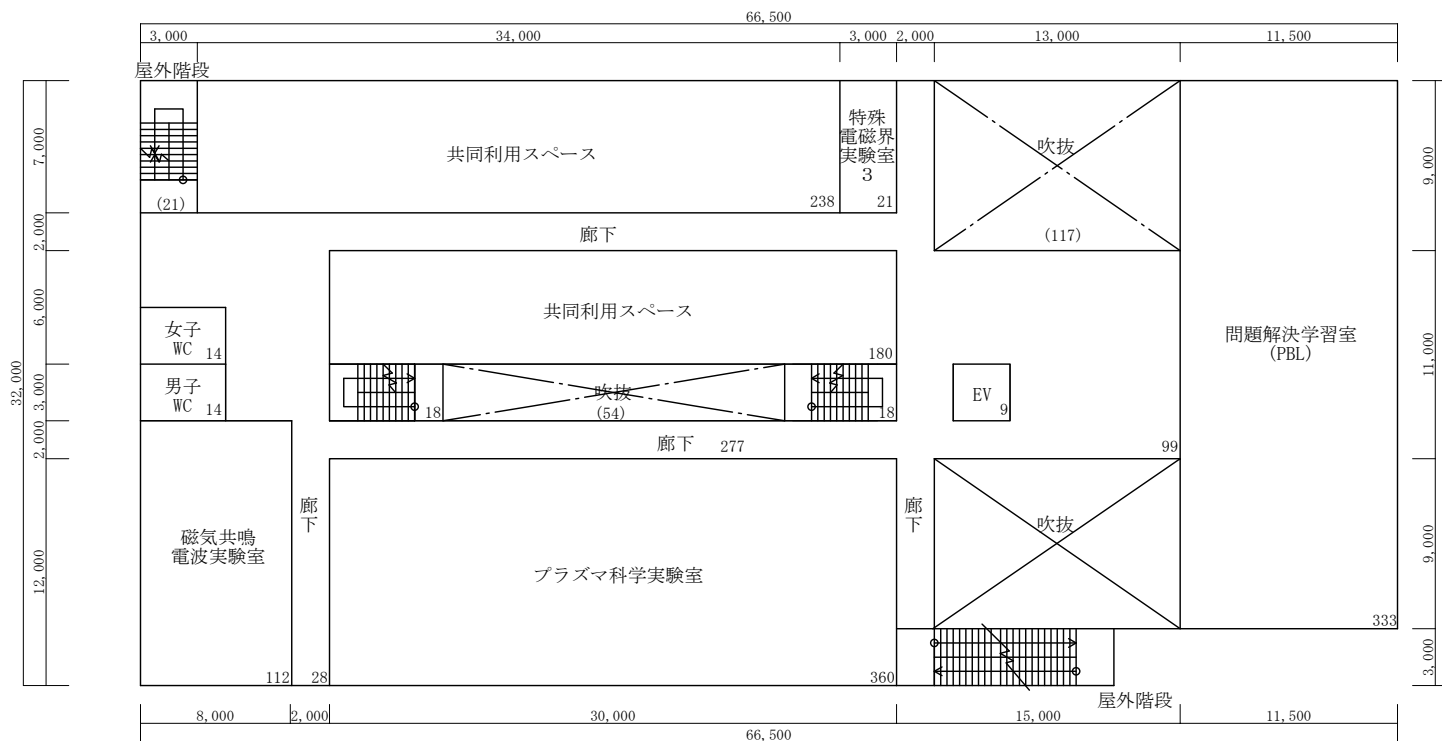
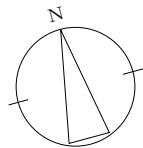
階数	面積
1 階	2,028
2 階	1,739
3 階	2,015
R 階	18
合計	5,800

業務名

東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務

1 階平面図

1/400

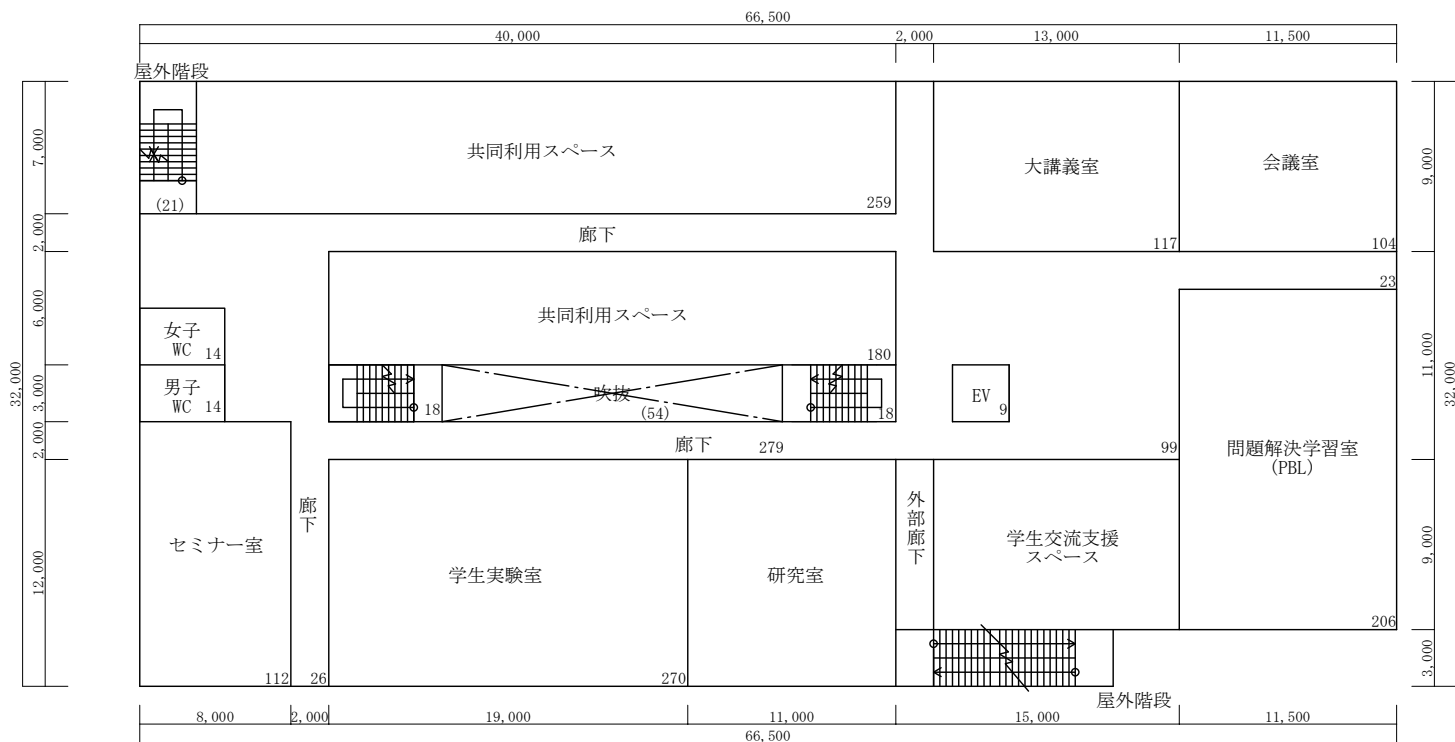
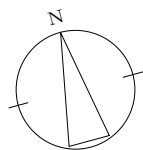


業務名

東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務

2階平面図

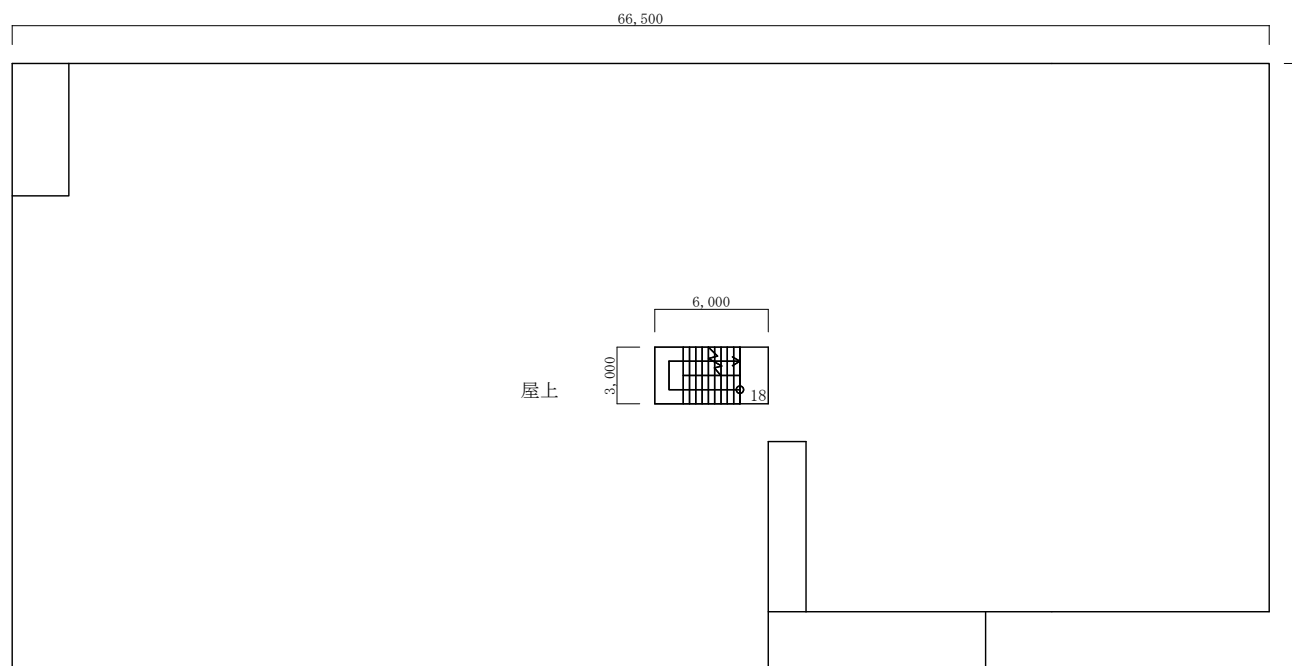
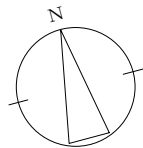
1/400



業務名 東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務

3階平面図

1/400

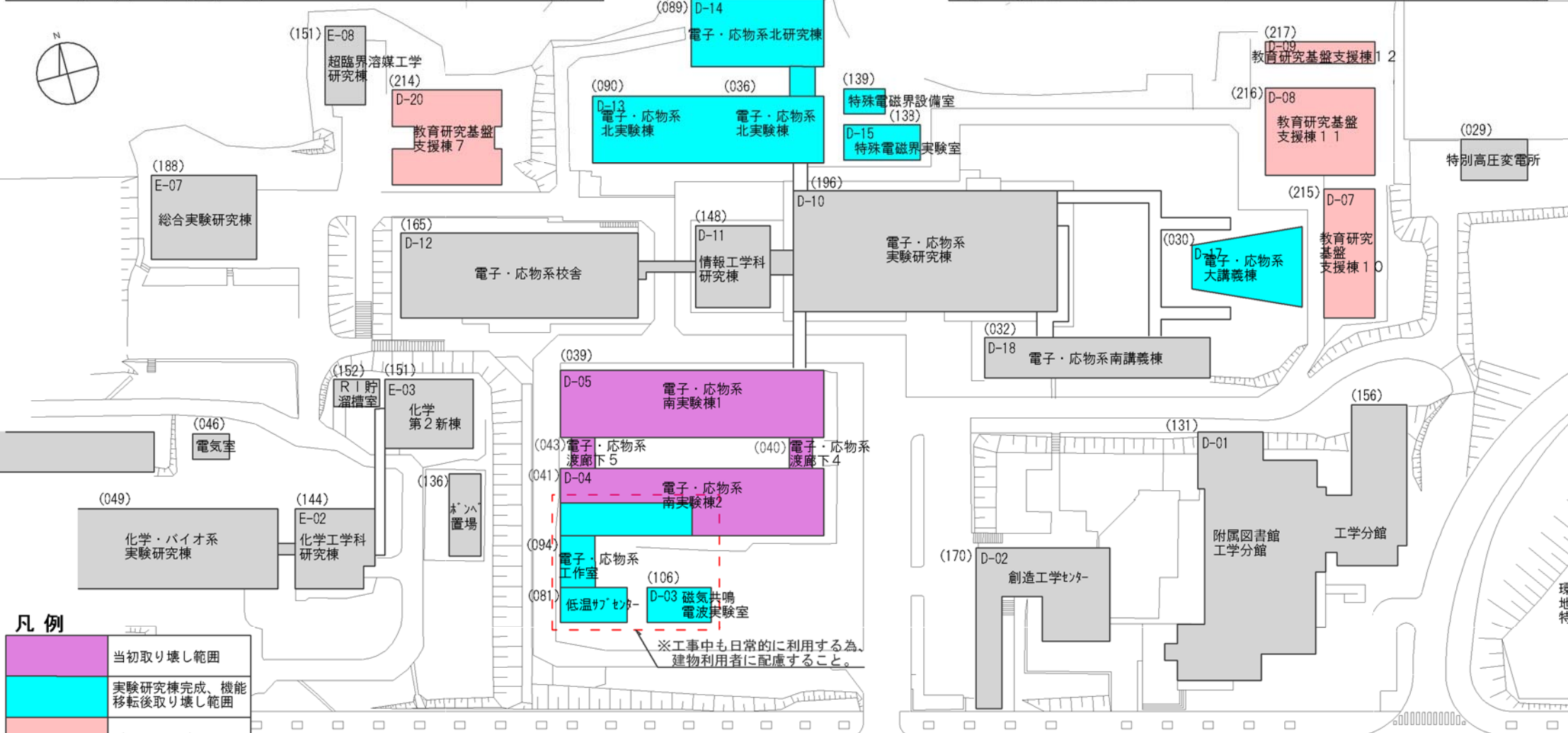
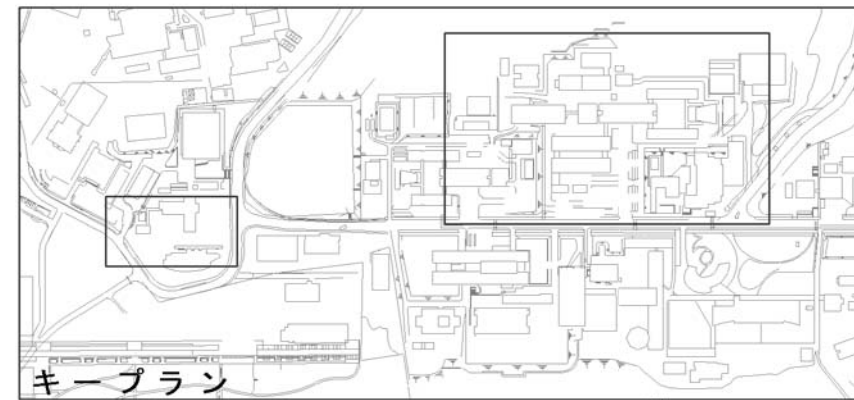
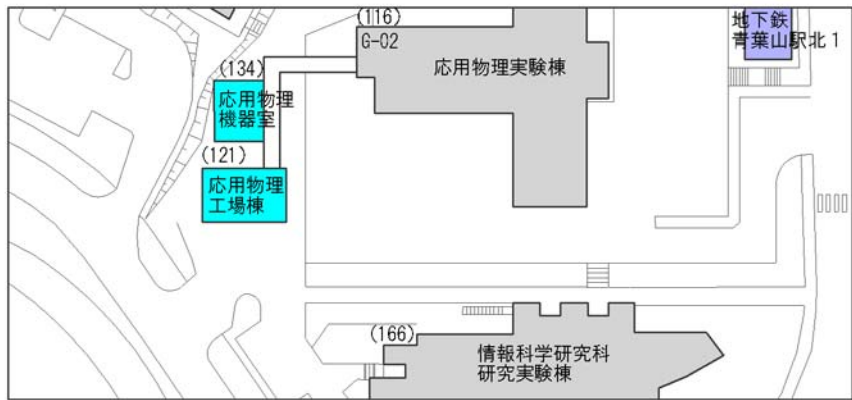


業務名

東北大学（青葉山1）実験研究棟（電子・応物系）新営その他設計業務

R階平面図

1/400



凡 例

	当初取り壊し範囲
	実験研究棟完成、機能移転後取り壊し範囲
	パフファスペース
	既存建物